

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900519
事業所名	グループホームほのほの広場

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	様々な交流の継続があり、保育園児の可愛い訪問を受け、園児が持参した、利用者への花束の贈呈は、微笑ましいエピソードである。中学生の職場体験受け入れは、毎回、訪れる生徒の实のある経験となるよう受入れている。近所の農家は四季の野菜をホームに届けることを楽しみにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回開催の会議は、利用者と家族、地域代表、行政関係者等の多くの参加を得て、ホームの活動報告を行い、意見交換を通じて改善のヒントを得ている。地域との連携のきっかけの場として、情報収集にも努め、相互に関わる関係作りに努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	入居待機者の紹介、運営に関する相談など、種々の情報交換を行い、協力する関係を築いている。また、法人代表は市の主催する予防介護教室の体操講師として地域に貢献している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	日常の面会に加え、ホームの行事には多くの家族の参加を得ており、家族はホームに気兼ねなく意見を表している。また、手書きの便り「くらしの日記」で利用者の様子を分かりやすく伝え、家族が意見を出しやすくするツールとして活用している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。